

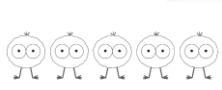
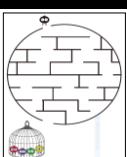
3歳児クラス 12月 第1回 「まっくろネリノ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シータータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> ・講：ホワイトボードの上部に、5種の「ネリノ兄弟」を絵本の最初の並び順で並べて、裏側に止めておく。表側には黒い色画用紙を貼っておき、「こんなちは」と1つずつ紐部分を引いて色を確認しながら表側にぶら下げ登場させる。この時、黒い画用紙の上では黒いネリノが見えづらいことを確認しておくと良い。「僕達お家に帰らなきや」と再び裏側に返し、今度は絵本の表紙を見せながらお話をスタートさせる。 	<p>教材</p> <p>★絵本 ★iPad(シーターセット) まっくろネリノ ネリノ兄弟4種 色画用紙3枚(黒)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ①色彩豊かで子どもの心をつかむほのぼのとしたストーリーが魅力の絵本なので、あまり進行を急がず、ゆったりとした雰囲気の中でお話を進めていく。 ②<活動①>のことを考えて最後に再びネリノと兄弟全色を登場させて確認して終了する。 	<p>保育士の役割</p> <p>・子どもと一緒にお話を楽しむ</p>	

がくしゅうタイム

読み方	活動①	ねらい 位置	指示された位置・色を理解して色を塗ることができる	
			<p>教材</p> <p>P 1 クレヨン</p>	
設問	ネリノとネリノの兄弟の色を思い出し、指示に従って塗りましょう			<p>保育士の役割</p>
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「ネリノは兄弟を助けて仲良くなつて良かったね」 ・保：「今日はネリノからお手紙が届いてますよ」とプリントの入った封筒提示。 			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「なになに？」とプリント提示。「大変！ネリノと兄弟の色が全部真っ白になっちゃつたんだって。助けてくださいって言ってるよ、どうしたらしい？」子どもから「クレヨンで塗れば良い」のことばを引き出し、プリント配布。 ・子：プリントを受け取り、各自クレヨンの蓋を開け準備して待つ。 <p>数にチャレンジ・講：「ネリノと兄弟、全部で何人いるかな？（左から指さし）みんなで一緒に数えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子：講師と一緒にプリントに描かれたネリノと兄弟の数を（左から）一人ずつ指さしながら皆で声を出して数え「5」を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・講：①「ネリノは何色だった？兄弟達の色を覚えてる？」子ども達に問い合わせ先ずは5色のクレヨンの色を箱から出させる。 ※クラスの様子を見て色の理解が出来ているようならそのまま色を塗る活動を行う。色を覚えていない子どもが多いようなら絵本やシーターのネリノと兄弟を見せ「赤、紫、黄緑、黄色、黒」指さしながら色を声に出して確認する。 ②2～3問、子どもの様子を見ながら位置の指示を出してネリノに色を塗っていく。 例)・まっくろネリノは左(右)から3番目です。黒のクレヨンで塗ってあげましょう。 ・紫のお兄さんは左から2番目です。紫のクレヨンで塗ってあげましょう。 ※位置の指示理解は前回11月3回に引き続いての課題です。子どもの理解度に合わせて行ってみましょう。 ・子：指示を聞いて「クルクル」をキーワードに塗っていく。 ・講：「ネリノ達、全部綺麗な色が戻って良かったね。ありがとうって言ってるよ」とスタンプ又は花丸で称賛して終了する。 <p>※プリントを回収又はクレヨンの箱の下などに片づけて<活動②>に進む。</p>	<p>教材</p> <p>P 1 クレヨン</p> <p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントの入った封筒提示 ・プリント配布 ・必用に応じて子どものフォロー ・称賛 ・プリントめくりのフォロー 		
設問	活動②	ねらい 書く	迷路のルールを理解して、スタートからゴールまで力強い線で進むことができる	
設問	ネリノから鳥かごの兄弟のところまで、壁にぶつからないように気をつけて迷路を進み兄弟を助けましょう			

つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・保：「またネリノからお手紙届きました」と再びプリントの入った封筒提示。 	教材 P 2 クレヨン
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講：封筒の中からプリントを提示し「大変！ネリノがまた捕まってる！真っ黒ネリノはどこ（スタート）？兄弟はどこ（ゴール）？」それ位置を確認する。 「みんなで助けてあげよう」「先生やってみるから見ててね」と以下の点をポイントに伝えながらクレヨンで迷路を進む見本行動を見せる。 <ul style="list-style-type: none"> ①壁にぶつからないように力強い線で道の真ん中を進む。(壁にぶつかったら「いたたた・・」などのリアクションをして盛り上げながら進む) ②進む道を間違えてしまった時は分かれ道まで戻って再度チャレンジする。 ③どちらに進むか迷った時は、その先を指でたどって確認してみる。 ・子：先ずは講師と一緒に指で道をたどって確認後、クレヨンでチャレンジする。 ※時間差が出る為、早く終わった子はクレヨンの色を変えて繰り返しチャレンジすることを伝える。 ・講：全員がゴールできたところで「終わり」の合図。全員が兄弟を助け出せたことを称賛しスタンプ又は花丸をする。クレヨン、プリントを片付けて活動を終了する 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの入った封筒提示。 ・必用に応じて子どものフォロー ・称賛

数チャレ	ねらい 数	ネリノの数「5」を数えることができる	教材
設問	ネリノとネリノの兄弟は全部で何人？数えてみましょう。		
活動内容	※<活動①>の中で実施します。		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	絵本の導入を画期的に行えたか
活動① 位置	クラスの状況に合わせて「左(右)から○番目」の指示を行ったか 丁寧な色塗りの指導も出来たか
活動② 書く	筆圧を意識させながら、推理する楽しさを指導出来たか
数チャレ	左から意識して1つずつ指差しながら数えたか

楽習タイム♪

*** テーマ・制作 ***

ポンポン作り

<作り方>

①作りたい大きさのポンポンの直径の長さに切った厚紙にクルクル毛糸を巻く
 ②適当な回数を巻いたら巻きが崩れないようにして台紙から抜き、真ん中部分を別糸でしっかりと結ぶ
 ③巻いた左右の輪の部分にはさみを入れ切り開き、全体に丸くなるように毛並みを切りそろえる

※巻く回数は特に決まりではなく大きさや毛糸の太さで変わってきます。
 細いもので50回～100回・太いもので100回が目安です



ぼくネリノ
ぼくのなかま
つくってみてね

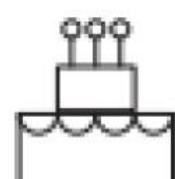
こんなかわいい
ものも
つくれるよ

糸を巻いたり、両端を切るところなど、できることは子ども達にも参加させて作ってみてくださいね。



今月のえかきリズム

*** ケーキ ***



えかきリズムの動画は
こちら



楽習タイムの動画は
こちら

